

製品名: PKA II α reg ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16180**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 45kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | PRKAR2A |
| 別名 | PRKAR2A; PKR2; PRKAR2; cAMP-dependent protein kinase type II-alpha regulatory subunit |
| 遺伝子 ID | 5576.0 |
| SwissProt ID | P13861 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト KAP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90 |

背景

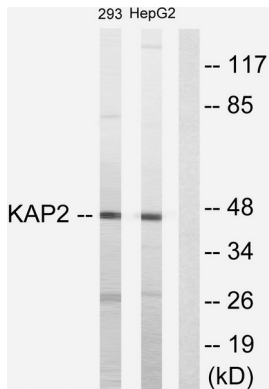
プロテインキナーゼ cAMP 依存性 II 型調節サブユニット α (PRKAR2A) Homo sapiens cAMP は、さまざまな細胞機能に重要なシグナル伝達分子です。cAMP は cAMP 依存性プロテインキナーゼを活性化することで効果を発揮し、cAMP 依存性プロテインキナーゼは

さまざまな標的タンパク質のリン酸化を介してシグナルを伝達します。不活性なキナーゼ ホロ酵素は、2つの調節サブユニットと2つの触媒サブユニットからなる四量体です。cAMP は不活性ホロ酵素を解離させ、4つの cAMP と2つの遊離単量体触媒サブユニットに結合した調節サブユニットの二量体を形成します。ヒトでは4つの異なる調節サブユニットと3つの触媒サブユニットが同定されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、調節サブユニットの1つです。このサブユニットは、活性化された触媒サブユニットによってリン酸化されます。さまざまな A キナーゼ アンカー タンパク質と相互作用し、cAMP 依存性プロテインキナーゼの細胞内局在を決定する可能性があります。このサブユニットの機能: II型調節鎖は、MAP2 キナーゼなどのアンカータンパク質に結合して膜結合を媒介する。、PTM: 活性化触媒鎖によってリン酸化される。、類似性: cAMP 依存性キナーゼ調節鎖ファミリーに属する。、類似性: 2つの環状ヌクレオチド結合ドメインを含む。、サブユニット: 不活性型の酵素は、2つの調節鎖と2つの触媒鎖から構成される。cAMP による活性化により、2つの活性触媒モノマーと、4つの cAMP 分子に結合する調節二量体を生成する。AKAP4 および CBFA2T3 と相互作用する。、組織特異性: I- α 、I- β 、II- α 、II- β の4種類の調節鎖が認められる。これらの発現は組織によって異なり、恒常的発現の場合もあれば誘導性発現の場合もある。、

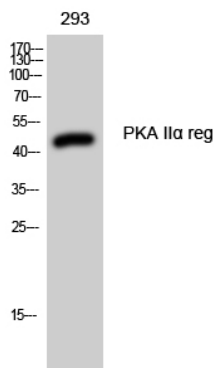
研究分野

アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;インスリン受容体;

画像データ



KAP2 抗体を用いた 293 細胞および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析
右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PKA II α reg ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析